

(5) N-4

a) N-4.1

(a) マント群落・ソデ群落の生育状況

N-4.1 のマント群落・ソデ群落の生育・形成状況を表 7.1.3-34～表 7.1.3-37、
図 7.1.3-34 に示した。

無障害物帯縁のマント群落・ソデ群落の過年度からの植生の推移をみると、各
地点ともに過年度において、評価図書に示す環境保全措置のとおり、林縁部にリ
ュウキュウチクの植栽を実施し、マント群落・ソデ群落が形成された。今年度につ
いても樹高、植被率とも維持されていた。以下に各調査地点の植生状況につい
て整理した。

北側は、過年度の調査(平成 29 年度)では、草丈 2.0m、植被率 80～90%、出現種
18～21 種であった。今年度調査においては、草丈 2.0m、植被率 90%、出現種 21
～22 種であった。過年度と比較すると、引き続きススキが優占するほか、コゴメ
スゲも高い被度を示し、マント群落・ソデ群落が形成されていた。

南東側は、過年度の調査(平成 29 年度)では、低木層が高さ 2.5m、植被率 5%、
出現種 1 種、草本層が草丈 1.8m、植被率 85～95%、出現種 23～24 種であった。今
年度調査においては、低木層が高さ 2.5m、植被率 7%、出現種 1 種、草本層が草丈
1.8m、植被率 90～95%、出現種 25 種であった。過年度と比較すると、引き続き低
木層と草本層に分化しており、草本層はススキが優占するほか、コゴメスゲも高
い被度を示し、マント群落・ソデ群落が形成されていた。

南側は、一時的に低木層と草本層に分化がみられたが、過年度の調査(平成 29
年度)には、草本層の 1 階層に取り込まれ、草丈 2.0m、植被率 90～95%、出現種
29～32 種であった。今年度調査においては、草丈 2.0m、植被率 90%、出現種 29
～31 種であった。過年度と比較すると、ススキが優占するほか、コゴメスゲも高
い被度を示し、マント群落・ソデ群落が形成されていた。

西側は、過年度の調査(平成 29 年度)では、低木層が高さ 3.5m、植被率 40～70%、
出現種 6～7 種、草本層が高さ 1.7m、植被率 70～80%、出現種 19～25 種であった。
今年度調査においては、低木層が高さ 3.5m、植被率 60%、出現種 10～11 種、草本
層が高さ 1.0m、植被率 50～60%、出現種 22～24 種であった。過年度と比較すると、
草本層の植被率が僅かに低下していたが、引き続きマント群落・ソデ群落が形成
されていた。

表 7.1.3-34(1) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1:北側)

調査年月日	N-4.1 マント群落・ソデ群落形成地										
	北側			北側				北側			
	H23年度			H24年度				H25年度			
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17
海拔 (m)	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176
方位	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
傾斜角度 (°)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	0.3	0.6	0.7	1.3	1.3	1.3	1.5	1.7	1.7	1.7	1.7
草本層(H)の植被率 (%)	15	50	60	75	75	80	80	80	80	100	90
草本層(H)の出現数 (種)	17	34	28	27	19	20	22	21	20	18	18
出現種数 (種)	17	34	28	27	19	20	22	21	20	18	18
低木層(S)											
S.1 ホルトノキ(モガシ)											
S.2 ホソバムクイヌビワ											
S.3 ギンゴウカン(ギンネム)											
S.4 オオムラサキシキブ											
S.5 ススキ											
S.6 リュウキュウイチゴ											
S.7 リュウキュウチク											
S.8 シロダモ											
S.9 ヤンバルアカメガシワ											
S.10 ヤマグワ											
S.11 ノボタン											
S.12 エゴノキ											
S.13 カキバカンコノキ											
S.14 ショウベンノキ											
S.15 フカノキ											
S.16 シマイズセンリョウ											
S.17 リュウキュウウマノズクサ											
S.18 タブノキ											
S.19 シマウリノキ											
草本層(H)											
H.1 ススキ		3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・4	3・4	4・4	4・4	4・4
H.2 リュウキュウチク (移植株)	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2
H.3 コゴメスゲ	+	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2
H.4 ホシダ	+	1・2	1・2	2・3	2・2	2・2	2・2	1・2	1・2	1・2	1・2
H.5 アカメガシワ		+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2		+		+
H.6 ハイシロノセンダングサ		+	+・2	1・2	2・2	1・2	+・2	+	+	+	+
H.7 エダウチチヂミザサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.8 ホソバムクイヌビワ			+	+	+	+	+	+			+
H.9 リュウキュウテイカズラ	+	+									+
H.10 オキナワサルトリイバラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
H.11 ギンゴウカン(ギンネム)		+	+								
H.12 ケホシダ				+				+		+	
H.13 シロダモ							+				
H.14 リュウキュウチク											
H.15 タブノキ	+	+									

注1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーベツト状に分布, 4: カーベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-34(2) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1:北側)

調査年月日	N-4.1 マント群落・ソデ群落形成地										
	北側			北側				北側			
	H23年度			H24年度				H25年度			
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17
海拔 (m)	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176
方位	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
傾斜角度 (°)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	0.3	0.6	0.7	1.3	1.3	1.3	1.5	1.7	1.7	1.7	1.7
草本層(H)の植被率 (%)	15	50	60	75	75	80	80	80	80	100	90
草本層(H)の出現数 (種)	17	34	28	27	19	20	22	21	20	18	18
出現種数 (種)	17	34	28	27	19	20	22	21	20	18	18
草本層(H)											
H. 16 シマイズセンリョウ		+	+2	1・2	1・2	1・2	1・2	+2	+2	+2	+2
H. 17 イヌビワ	+	+	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+
H. 18 カキバカンコノキ											
H. 19 アオノクマタケラン	+	+	+	+	+	1・2	+2	+2	+2	+2	+2
H. 20 コンロンカ		+	+	+		+	+	+	+	+	
H. 21 オオムラサキシキブ		+	+	+2	+2	+	+	+	+	+	+
H. 22 リュウキュウウマノスズクサ											
H. 23 ホウロクイチゴ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 24 カクレミノ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 25 ホルトノキ(モガシ)											
H. 26 スダジイ(イタジイ)							+				
H. 27 リュウキュウバライチゴ		+2	1・2	1・2	1・2	2・2	2・3	3・3	2・2	2・2	2・2
H. 28 ヒメユズリハ											
H. 29 シラタマカズラ	+	+									
H. 30 エゴノキ											
H. 31 ハゼノキ				+							
H. 32 リュウキュウイチゴ							+	+2	+2		
H. 33 フカノキ											
H. 34 トベラ	+	+									
H. 35 サキシマフヨウ		1・1	+	+	+2	+2	+2	1・2	1・1	1・1	1・1
H. 36 ゴンズイ				+							
H. 37 クチナシ				+							
H. 38 ツボクサ	+	+	+								
H. 39 マンリョウ											
H. 40 インドシャリンバイ											
H. 41 シバヤブニッケイ											
H. 42 ヤナギバモクセイ											
H. 43 ヒラミレモン											
H. 44 ギイマ											
H. 45 ショウベンノキ											
H. 46 コバナヒメハギ		+	+								
H. 47 シロミズ											
H. 48 ヒカゲヘゴ											
H. 49 クロガヤ											
H. 50 ヘクソカズラ											

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーベツ状に分布, 4: カーベツに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-34(3) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1:北側)

N-4.1 マント群落・ソデ群落形成地	北側				北側				北側			
	H23年度		H24年度		H24年度		H25年度		H25年度		H25年度	
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17	
調査年月日												
海拔 (m)	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176
方位	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
傾斜角度 (°)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	0.3	0.6	0.7	1.3	1.3	1.3	1.5	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
草本層(H)の植被率 (%)	15	50	60	75	75	80	80	80	80	100	90	90
草本層(H)の出現数 (種)	17	34	28	27	19	20	22	21	20	18	18	18
出現種数 (種)	17	34	28	27	19	20	22	21	20	18	18	18
草本層(H)												
H. 51 ナワシロイチゴ	+	+	+	+	+	+						
H. 52 ヤマグワ		+	+	+					+			
H. 53 サネカズラ												
H. 54 イスノキ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 55 モクタチバナ												
H. 56 タイミンタチバナ												
H. 57 トキワカモメヅル	+	+		+								
H. 58 シシアクチ												
H. 59 コバンモチ												
H. 60 オオバギ												
H. 61 リュウキュウマツ												
H. 62 クロミノオキナワズメウリ	+	+	+									
H. 63 カタバミ		+	+					+				
H. 64 シマサルナシ												
H. 65 ササクサ												
H. 66 オニタビラコ	+	+										
H. 67 コシダ												
H. 68 タカサゴコウゾリナ												
H. 69 ノボタン												
H. 70 ナガバハリフタバ		+	+	+								
H. 71 ウスベニニガナ												
H. 72 ヤンバルアカメガシワ												
H. 73 マルバダケハギ		+	+									
H. 74 キダチコミカンソウ		+										
H. 75 ハナガサノキ												
H. 76 ササバサンキライ												
H. 77 ナガバカニクサ												
H. 78 イタビカズラ												
H. 79 モチノキ												
H. 80 ヨウレイラン												
H. 81 ソメモノカズラ												
H. 82 カラスキバサンキライ												
H. 83 ヤブニツケイ												
H. 84 ツルグミ												

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-34(4) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1:北側)

調査年月日	N-4.1 マント群落・ソデ群落形成地											
	北側				北側		北側				北側	
	H26年度				H27年度		H29年度				H30年度	
	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/29	1/30	5/8	7/26
海拔 (m)	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176
方位	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
傾斜角度 (°)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
草本層(H)の植被率 (%)	90	80	80	80	80	80	80	90	90	90	90	90
草本層(H)の出現数 (種)	19	19	20	20	25	27	20	19	17	17	22	21
出現種数 (種)	19	19	20	20	25	27	20	19	17	17	22	21
低木層(S)												
S.1 ホルトノキ(モガシ)												
S.2 ホソバムクイヌビワ												
S.3 ギンゴウカン(ギンネム)												
S.4 オオムラサキシキブ												
S.5 ススキ												
S.6 リュウキュウイチゴ												
S.7 リュウキュウチク												
S.8 シロダモ												
S.9 ヤンバルアカメガシワ												
S.10 ヤマグワ												
S.11 ノボタン												
S.12 エゴノキ												
S.13 カキバカンコノキ												
S.14 ショウベンノキ												
S.15 フカノキ												
S.16 シマイズセンリョウ												
S.17 リュウキュウウマノズクサ												
S.18 タブノキ												
S.19 シマウリノキ												
草本層(H)												
H.1 ススキ	4・4	4・4	4・4	4・4	4・4	4・4	4・5	5・5	4・5	4・5	4・5	4・4
H.2 リュウキュウチク (移植株)	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+	+	+	+	+	+
H.3 コゴメスゲ	1・2	+2	+2	+2	+2	+2	4・4	3・4	3・4	3・4	3・4	3・3
H.4 ホシダ	1・2	+2	+2	1・2	1・2	1・2	1・2	+2	+2	+2	+2	1・2
H.5 アカメガシワ				+	+	+	+	1・1	1・1	+	+	+
H.6 ハイシロノセンダングサ					+	+	+2	+	+2	+2	+2	+2
H.7 エダウチチヂミザサ	+	+	+	+	+	+	+2	+2	+2	+	+2	+2
H.8 ホソバムクイヌビワ	+	+	+	+	+	+	1・2		+2	+	+	+
H.9 リュウキュウテイカズラ	+			+	+	+	+	+		+	+	+
H.10 オキナワサルトリイバラ		+	+	+	+	+	+	+		+	+	
H.11 ギンゴウカン(ギンネム)		+	+	+	+	+	+				+	+
H.12 ケホシダ												
H.13 シロダモ	+	+	+		+	+						
H.14 リュウキュウチク							+	+	+	+	+	+
H.15 タブノキ												

注1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-34(5) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1:北側)

N-4.1 マント群落・ソデ群落形成地		北側				北側		北側				北側	
調査年月日		H26年度				H27年度		H29年度				H30年度	
		6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/29	1/30	5/8	7/26
海拔	(m)	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176
方位		N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
傾斜角度	(°)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
調査区面積	(m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の高さ	(m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率	(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数	(種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ	(m)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
草本層(H)の植被率	(%)	90	80	80	80	80	80	80	90	90	90	90	90
草本層(H)の出現数	(種)	19	19	20	20	25	27	20	19	17	17	22	21
出現種数	(種)	19	19	20	20	25	27	20	19	17	17	22	21
草本層(H)													
H. 16	シマイズセンリョウ	1・2	1・2	1・2	++2	+2	+2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2
H. 17	イヌビワ	+	+	+	+	+	+	1・2	1・2	1・2	+	+	+
H. 18	カキバカンコノキ												
H. 19	アオノクマタケラン	+2	+	+	+	+	+	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2
H. 20	コンロンカ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+2
H. 21	オオムラサキシキブ	+					+	+	+2			+	+
H. 22	リュウキュウマノスズクサ					+	+						
H. 23	ホウロクイチゴ	1・1	+2	1・1	1・1	1・1	1・1						
H. 24	カクレミノ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 25	ホルトノキ(モガシ)					+	+						
H. 26	スダジイ(イタジイ)	+				+	+						
H. 27	リュウキュウバライチゴ	2・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2						
H. 28	ヒメズリハ												
H. 29	シラタマカズラ											+	+
H. 30	エゴノキ												
H. 31	ハゼノキ												
H. 32	リュウキュウイチゴ	+		+	+	+	+						
H. 33	フカノキ												
H. 34	トベラ							+	+	+	+	+	+
H. 35	サキシマフヨウ	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1						
H. 36	ゴンズイ												
H. 37	クチナシ								+	+		+	
H. 38	ツボクサ												
H. 39	マンリョウ												
H. 40	インドシャリンバイ												
H. 41	シバヤブニッケイ												
H. 42	ヤナギバモクセイ												
H. 43	ヒラミレモン		+	+	+	+	+						
H. 44	ギイマ												
H. 45	ショウベンノキ												
H. 46	コバナヒメハギ												+
H. 47	シロミミズ												
H. 48	ヒカゲヘゴ												
H. 49	クロガヤ							+	+	+			
H. 50	ヘクソカズラ												

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-34(6) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1:北側)

N-4.1 マント群落・ソデ群落形成地		北側				北側		北側				北側	
調査年月日		H26年度				H27年度		H29年度				H30年度	
		6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/29	1/30	5/8	7/26
海拔	(m)	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176
方位		N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
傾斜角度	(°)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
調査区面積	(m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の高さ	(m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率	(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数	(種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ	(m)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
草本層(H)の植被率	(%)	90	80	80	80	80	80	80	90	90	90	90	90
草本層(H)の出現数	(種)	19	19	20	20	25	27	20	19	17	17	22	21
出現種数	(種)	19	19	20	20	25	27	20	19	17	17	22	21
草本層(H)													
H. 51	ナワシロイチゴ												
H. 52	ヤマグワ			+				+	+	+	+	+	+
H. 53	サネカズラ												
H. 54	イスノキ						+					+	+
H. 55	モクダチバナ												
H. 56	タイムシタチバナ												
H. 57	トキワカモメヅル	+	+										
H. 58	シシアクチ												
H. 59	コバンモチ												
H. 60	オオバギ												
H. 61	リュウキュウマツ												
H. 62	クロミノオキナワスズメウリ												
H. 63	カタバミ												
H. 64	シマサルナシ												
H. 65	ササクサ												
H. 66	オニタビラコ												
H. 67	コシダ												
H. 68	タカサゴコウゾリナ												
H. 69	ノボタン												
H. 70	ナガバハリフタバ												
H. 71	ウスベニニガナ												
H. 72	ヤンバルアカメガシワ												
H. 73	マルバダケハギ												
H. 74	キダチコミカンソウ												
H. 75	ハナガサノキ												
H. 76	ササバサンキライ												
H. 77	ナガバカニクサ												
H. 78	イタビカズラ												
H. 79	モチノキ												
H. 80													
H. 81	ソメモノカズラ												
H. 82	カラスキバサンキライ												
H. 83	ヤブニツケイ												
H. 84	ツルグミ												

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-35(1) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1:南東側)

調査年月日	N-4.1 マント群落・ソデ群落形成地										
	南東側			南東側				南東側			
	H23年度			H24年度				H25年度			
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17
海拔 (m)	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172
方位	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
傾斜角度 (°)	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	0.3	0.6	0.7	1.2	1.2	1.2	1.5	1.7	1.7	1.8	1.8
草本層(H)の植被率 (%)	10	70	80	95	95	95	95	95	95	100	100
草本層(H)の出現数 (種)	18	25	27	19	24	24	17	22	17	15	17
出現種数 (種)	18	25	27	19	24	24	17	22	17	15	17
低木層(S)											
S.1 ホルトノキ(モガシ)											
S.2 ホソバムクイヌビワ											
S.3 ギンゴウカン(ギンネム)											
S.4 オオムラサキシキブ											
S.5 ススキ											
S.6 リュウキュウイチゴ											
S.7 リュウキュウチク											
S.8 シロダモ											
S.9 ヤンバルアカメガシワ											
S.10 ヤマグワ											
S.11 ノボタン											
S.12 エゴノキ											
S.13 カキバカンコノキ											
S.14 ショウベンノキ											
S.15 フカノキ											
S.16 シマイズセンリョウ											
S.17 リュウキュウウマノスズクサ											
S.18 タブノキ											
S.19 シマウリノキ											
草本層(H)											
H.1 ススキ	+	4・4	4・4	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5
H.2 リュウキュウチク (移植株)	++2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+	+	+	+
H.3 コゴメスゲ			+		+2	+2	+2	1・2	1・2	1・2	1・2
H.4 ホシダ	+	+	+	+	+	+				+	+
H.5 アカメガシワ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.6 ハイシロノセンダングサ	+	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	++2	+	+	+	+
H.7 エダウチチヂミザサ											
H.8 ホソバムクイヌビワ			+	+	+	+	+	+			+
H.9 リュウキュウテイカカズラ		+	+		+	+					
H.10 オキナワサルトリイバラ	+	+	+		+	+					
H.11 ギンゴウカン(ギンネム)	+	+	+	+	+	+		+			
H.12 ケホシダ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.13 シロダモ	+	+	+	+	+2	+2	+2	1・2	1・2	1・2	1・2
H.14 リュウキュウチク	++2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2
H.15 タブノキ	+	+	+		+	+	+	+	+	+	+

注1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーベツト状に分布, 4: カーベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-35(2) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1:南東側)

調査年月日	N-4.1 マント群落・ソデ群落形成地										
	南東側			南東側				南東側			
	H23年度			H24年度				H25年度			
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17
海拔 (m)	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172
方位	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
傾斜角度 (°)	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	0.3	0.6	0.7	1.2	1.2	1.2	1.5	1.7	1.7	1.8	1.8
草本層(H)の植被率 (%)	10	70	80	95	95	95	95	95	95	100	100
草本層(H)の出現数 (種)	18	25	27	19	24	24	17	22	17	15	17
出現種数 (種)	18	25	27	19	24	24	17	22	17	15	17
草本層(H)											
H. 16 シマズセンリョウ			+	+							
H. 17 イヌビワ							+				
H. 18 カキバカンコノキ		+	+		+	+		+	+		
H. 19 アオノクマタケラン	+	+									
H. 20 コンロンカ											
H. 21 オオムラサキシキブ											
H. 22 リュウキュウマノスズクサ	+	+	+	+		+					
H. 23 ホウロクイチゴ	+	+		+				+			
H. 24 カクレミノ											
H. 25 ホルトノキ(モガシ)											
H. 26 スダジイ(イタジイ)		+	+		+		+	+	+	+	+
H. 27 リュウキュウバライチゴ		+	++2	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 28 ヒメユズリハ	+	+			+	+		+		+	+
H. 29 シラタマカズラ											
H. 30 エゴノキ											
H. 31 ハゼノキ											
H. 32 リュウキュウイチゴ							++2	+	+	+	+
H. 33 フカノキ		+	+		+	+					
H. 34 トベラ											
H. 35 サキシマフヨウ					+	+	+				
H. 36 ゴンズイ											
H. 37 クチナシ											
H. 38 ツボクサ	+	+	+			+					
H. 39 マンリョウ	+	+	+	+	+	+	+	+	+		+
H. 40 インドシャリンバイ											
H. 41 シバヤブニッケイ											
H. 42 	+	+	+	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1
H. 43 ヒラミレモン											
H. 44 ギイマ											
H. 45 ショウベンノキ											
H. 46 コバナヒメハギ	+	+	++2	++2							
H. 47 シロミミズ		+			+						
H. 48 ヒカゲヘゴ											
H. 49 クロガヤ											
H. 50 ヘクソカズラ								+	+	+	

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな斑を形成あるいはまだら状, 2: 斑状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-35(3) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1:南東側)

調査年月日	N-4.1 マント群落・ソデ群落形成地										
	南東側			南東側				南東側			
	H23年度			H24年度				H25年度			
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17
海拔 (m)	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172
方位	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
傾斜角度 (°)	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	0.3	0.6	0.7	1.2	1.2	1.2	1.5	1.7	1.7	1.8	1.8
草本層(H)の植被率 (%)	10	70	80	95	95	95	95	95	95	100	100
草本層(H)の出現数 (種)	18	25	27	19	24	24	17	22	17	15	17
出現種数 (種)	18	25	27	19	24	24	17	22	17	15	17
草本層(H)											
H. 51 ナワシロイチゴ	+		1・2	1・2	+・2	+・2					
H. 52 ヤマグワ											
H. 53 サネカズラ											
H. 54 イスノキ											
H. 55 モクタチバナ			+	+	+	+	+	+	+		+
H. 56 タイミンタチバナ								+			
H. 57 トキワカモメヅル											
H. 58 シシアクチ											
H. 59 コバンモチ											
H. 60 オオバギ											
H. 61 リュウキュウマツ		+	+								
H. 62 クロミノオキナワズメウリ											
H. 63 カタバミ			+	+							
H. 64 シマサルナシ									+		
H. 65 ササクサ											
H. 66 オニタビラコ											
H. 67 コシダ								+			
H. 68 タカサゴコウゾリナ											
H. 69 ノボタン											
H. 70 ナガバハリフタバ											
H. 71 ウスベニニガナ											
H. 72 ヤンバルアカメガシワ											
H. 73 マルバダケハギ											
H. 74 キダチコミカンソウ											
H. 75 ハナガサノキ											
H. 76 ササバサンキライ											
H. 77 ナガバカニクサ											
H. 78 イタビカズラ											
H. 79 モチノキ											
H. 80 											
H. 81 ソメモノカズラ											
H. 82 カラスキバサンキライ											
H. 83 ヤブニツケイ											
H. 84 ツルグミ											

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-35(4) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1:南東側)

調査年月日	N-4.1 マント群落・ソデ群落形成地											
	南東側				南東側		南東側				南東側	
	H26年度				H27年度		H29年度				H30年度	
	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/29	1/30	5/8	7/26
海拔 (m)	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172
方位	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
傾斜角度 (°)	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	5	5	5	5	7	7
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1
草本層(H)の高さ (m)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
草本層(H)の植被率 (%)	100	100	100	100	100	100	95	95	95	85	90	95
草本層(H)の出現数 (種)	20	19	20	21	22	24	23	22	24	22	25	25
出現種数 (種)	20	19	20	21	22	24	23	22	24	22	25	25
低木層(S)												
S.1 ホルトノキ(モガシ)												
S.2 ホソバムクイヌビワ												
S.3 ギンゴウカン(ギンネム)												
S.4 オオムラサキシキブ												
S.5 ススキ												
S.6 リュウキュウイチゴ												
S.7 リュウキュウチク												
S.8 シロダモ							1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1
S.9 ヤンバルアカメガシワ												
S.10 ヤマグワ												
S.11 ノボタン												
S.12 エゴノキ												
S.13 カキバカンコノキ												
S.14 ショウベンノキ												
S.15 フカノキ												
S.16 シマイズセンリョウ												
S.17 リュウキュウウマノズクサ												
S.18 タブノキ												
S.19 シマウリノキ												
草本層(H)												
H.1 ススキ	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	3・3	3・4	3・4	3・4	4・4	4・5
H.2 リュウキュウチク (移植株)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.3 コゴメスゲ	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	2・3	2・3	2・3	2・3	2・3	2・3
H.4 ホシダ	+	+							+	+	+2	1・2
H.5 アカメガシワ	+	+	+	+	+	+	1・1	1・1	1・1	+	+	+
H.6 ハイシロノセンダングサ							+	+		+		+
H.7 エダウチチヂミザサ							+		+	+		
H.8 ホソバムクイヌビワ	+	+	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1
H.9 リュウキュウテイカカズラ							+		+		+	+
H.10 オキナワサルトリイバラ	+		+	+	+	+	+		+	+	+	+
H.11 ギンゴウカン(ギンネム)		+	+	+	+	+		+			+	+
H.12 ケホシダ	+		+	+	+	+	+	+	+2			
H.13 シロダモ	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	2・2	2・2
H.14 リュウキュウチク	+		+	+	+	+	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2
H.15 タブノキ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+2	+

注1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-35(5) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1:南東側)

調査年月日	南東側				南東側		南東側				南東側	
	H26年度				H27年度		H29年度				H30年度	
	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/29	1/30	5/8	7/26
海拔 (m)	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172
方位	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
傾斜角度 (°)	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	5	5	5	5	7	7
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1
草本層(H)の高さ (m)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
草本層(H)の植被率 (%)	100	100	100	100	100	100	95	95	95	85	90	95
草本層(H)の出現数 (種)	20	19	20	21	22	24	23	22	24	22	25	25
出現種数 (種)	20	19	20	21	22	24	23	22	24	22	25	25
草本層(H)												
H. 16 シマイズセンリョウ							+	+	+		+	+
H. 17 イヌビワ												
H. 18 カキバカンコノキ	+								+	+	+	+
H. 19 アオノクマタケラン								+				
H. 20 コンロンカ				+	+	+	+	+	+	+	+2	+
H. 21 オオムラサキシキブ						+						
H. 22 リュウキュウマノスズクサ			+	+	+	+	+				+	+
H. 23 ホウロクイチゴ	+	+						+				
H. 24 カクレミノ												
H. 25 ホルトノキ(モガシ)												
H. 26 スダジイ(イタジイ)	+	+	+	+	+	+		+	+		+	+
H. 27 リュウキュウバライチゴ	+			+	+	+						
H. 28 ヒメユズリハ	+	+	+	+	+	+						
H. 29 シラタマカズラ		+	+	+	+	+		+	+	+	+	+
H. 30 エゴノキ												
H. 31 ハゼノキ	+	+										
H. 32 リュウキュウイチゴ	+	+	+	+	+	+			+	+	+	
H. 33 フカノキ												
H. 34 トベラ												
H. 35 サキシマフヨウ												
H. 36 ゴンズイ												
H. 37 クチナシ												
H. 38 ツボクサ							+	+	+		+	+
H. 39 マンリョウ	+	+	+	+	+	+	+	+	+		+	+
H. 40 インドシャリンバイ												
H. 41 シバヤブニッケイ						+	+			+		
H. 42 	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1
H. 43 ヒラミレモン												
H. 44 ギイマ												
H. 45 ショウベンノキ												
H. 46 コバナヒメハギ				+	+	+	+2					+
H. 47 シロミズ		+					+					
H. 48 ヒカゲヘゴ												
H. 49 クロガヤ												
H. 50 ヘクソカズラ	+		+		+	+	+			+	+	+

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カーベツ状に分布, 4: カーベツ中に穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布
 注 2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-35(6) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1:南東側)

調査年月日	南東側				南東側		南東側				南東側	
	H26年度				H27年度		H29年度				H30年度	
	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/29	1/30	5/8	7/26
海拔 (m)	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172
方位	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
傾斜角度 (°)	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	5	5	5	5	7	7
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1
草本層(H)の高さ (m)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
草本層(H)の植被率 (%)	100	100	100	100	100	100	95	95	95	85	90	95
草本層(H)の出現数 (種)	20	19	20	21	22	24	23	22	24	22	25	25
出現種数 (種)	20	19	20	21	22	24	23	22	24	22	25	25
草本層(H)												
H. 51 ナワシロイチゴ												
H. 52 ヤマゲワ												
H. 53 サネカズラ												
H. 54 イスノキ												
H. 55 モクタチバナ	+	+	+	+	+	+						
H. 56 タイミンタチバナ							+	+	+		+	
H. 57 トキワカモメヅル												
H. 58 シシアクチ								+	+	+	+	+
H. 59 コバンモチ												
H. 60 オオバギ												
H. 61 リュウキュウマツ										+	+	+
H. 62 クロミノオキナワスズメウリ												
H. 63 カタバミ												
H. 64 シマサルナン												
H. 65 ササクサ												
H. 66 オニタビラコ												
H. 67 コシダ								+	+	+		
H. 68 タカサゴコウゾリナ												
H. 69 ノボタン												
H. 70 ナガバハリフタバ												
H. 71 ウスベニニガナ												
H. 72 ヤンバルアカメガシワ												
H. 73 マルバダケハギ												
H. 74 キダチコミカンソウ												
H. 75 ハナガサノキ			+									
H. 76 ササバサンキライ												
H. 77 ナガバカニクサ												
H. 78 イタビカズラ										+		
H. 79 モチノキ												
H. 80 												
H. 81 ソメモノカズラ												
H. 82 カラスキバサンキライ												
H. 83 ヤブニッケイ												
H. 84 ツルグミ												

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カーベツ状に分布, 4: カーベツに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布
 注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-36(1) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1:南側)

調査年月日	N-4.1 マント群落・ソデ群落形成地										
	南側			南側				南側			
	H23年度			H24年度				H25年度			
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17
海拔 (m)	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174
方位	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE
傾斜角度 (°)	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	2.0	2.5	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	3	5	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6	0.8	1.2	1.2	1.5	1.5	1.7
草本層(H)の植被率 (%)	20	40	40	40	40	40	40	60	70	90	90
草本層(H)の出現数 (種)	29	38	34	36	32	36	33	33	34	34	35
出現種数 (種)	29	38	34	36	32	36	34	35	34	34	35
低木層(S)											
S.1 ホルトノキ(モガシ)											
S.2 ホソバムクイヌビワ											
S.3 ギンゴウカン(ギンネム)											
S.4 オオムラサキシキブ											
S.5 ススキ											
S.6 リュウキュウイチゴ											
S.7 リュウキュウチク											
S.8 シロダモ											
S.9 ヤンバルアカメガシワ											
S.10 ヤマグワ											
S.11 ノボタン											
S.12 エゴノキ											
S.13 カキバカンコノキ											
S.14 ショウベンノキ							1・1	1・1			
S.15 フカノキ								1・1			
S.16 シマイズセンリョウ											
S.17 リュウキュウマノスズクサ											
S.18 タブノキ											
S.19 シマウリノキ											
草本層(H)											
H.1 ススキ		1・2	1・2	2・2	2・2	2・3	2・3	3・3	3・4	4・4	4・4
H.2 リュウキュウチク (移植株)	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2
H.3 コゴメスゲ		+	+	+	+・2	+・2	+・2	1・2	2・2	2・2	2・2
H.4 ホシダ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.5 アカメガシワ	+	1・2	1・2	+・2	+・2	+・2	+	+	+	+	+
H.6 ハイシロノセンダングサ	+	+	+	+	+	+	+		+	+	+
H.7 エダウチチヂミザサ	+	+	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+	+	+	+
H.8 ホソバムクイヌビワ		+	+	+	+			+	+	+	+
H.9 リュウキュウテイカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.10 オキナワサルトリイバラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.11 ギンゴウカン(ギンネム)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.12 ケホシダ		+	+	+	+	+	+	+		+	+
H.13 シロダモ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.14 リュウキュウチク	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2
H.15 タブノキ	+	+		+	+	+	+	+	+	+	+

注1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーベツト状に分布, 4: カーベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-36(2) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1:南側)

調査年月日	N-4.1 マント群落・ソデ群落形成地										
	南側			南側				南側			
	H23年度			H24年度				H25年度			
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17
海拔 (m)	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174
方位	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE
傾斜角度 (°)	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	2.0	2.5	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	3	5	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6	0.8	1.2	1.2	1.5	1.5	1.7
草本層(H)の植被率 (%)	20	40	40	40	40	40	40	60	70	90	90
草本層(H)の出現数 (種)	29	38	34	36	32	36	33	33	34	34	35
出現種数 (種)	29	38	34	36	32	36	34	35	34	34	35
草本層(H)											
H. 16 シマイズセンリョウ											
H. 17 イヌビワ							+			+	
H. 18 カキバカンコノキ	+	+	+	+		+	+	+	+	+	+
H. 19 アオノクマタケラン	+				+						
H. 20 コンロンカ		+	+			+					
H. 21 オオムラサキシキブ			+	+・2	+	+	+	+	+		+
H. 22 リュウキュウウマノスズクサ	+	+	+	+		+	+	+	+	+	+
H. 23 ホウロクイチゴ	+					+	+				
H. 24 カクレミノ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 25 ホルトノキ(モガシ)	+	+	+・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	+・2	+・2	+・2
H. 26 スダジイ(イタジイ)					+	+	+	+	+	+	+
H. 27 リュウキュウバライチゴ											
H. 28 ヒメユズリハ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 29 シラタマカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+・2	+・2	+・2
H. 30 エゴノキ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 31 ハゼノキ		+	+	+・2	+	+	+	+	+	+	+
H. 32 リュウキュウイチゴ											
H. 33 フカノキ	+	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1		1・1	1・1	1・1
H. 34 トベラ		+	+	+		+	+	+	+	+	+
H. 35 サキシマフヨウ		+						+			
H. 36 ゴンズイ	+	+	+	+		+		+・2	+	+	+
H. 37 クチナシ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 38 ツボクサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 39 マンリョウ											
H. 40 インドシャリンバイ		+	+	+	+		+	+	+	+	+
H. 41 シバヤブニッケイ				+	+	+	+	+	+	+	+
H. 42 											
H. 43 ヒラミレモン											
H. 44 ギイマ		+	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1
H. 45 ショウベンノキ	+	+	+	1・1	1・1	1・1			1・1	1・1	1・1
H. 46 コバナヒメハギ	+	+・2	+・2	+・2	+						
H. 47 シロミミズ	+	+		+		+		+	+	+	+
H. 48 ヒカゲヘゴ											
H. 49 クロガヤ											+
H. 50 ヘクソカズラ											

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-36(3) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1:南側)

調査年月日	N-4.1 マント群落・ソデ群落形成地										
	南側			南側				南側			
	H23年度			H24年度				H25年度			
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17
海拔 (m)	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174
方位	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE
傾斜角度 (°)	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	2.0	2.5	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	3	5	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6	0.8	1.2	1.2	1.5	1.5	1.7
草本層(H)の植被率 (%)	20	40	40	40	40	40	40	60	70	90	90
草本層(H)の出現数 (種)	29	38	34	36	32	36	33	33	34	34	35
出現種数 (種)	29	38	34	36	32	36	34	35	34	34	35
草本層(H)											
H. 51 ナワシロイチゴ											
H. 52 ヤマグワ											
H. 53 サネカズラ											
H. 54 イスノキ											
H. 55 モクタチバナ											
H. 56 タイミンタチバナ											
H. 57 トキワカモメヅル		+		+		+					
H. 58 シシアクチ	+										
H. 59 コバンモチ							+	+	+		
H. 60 オオバギ		+	+								
H. 61 リュウキュウマツ											
H. 62 クロミノオキナワスズメウリ											
H. 63 カタバミ											
H. 64 シマサルナシ											
H. 65 ササクサ	+	+	+	+		+					
H. 66 オニタビラコ	+										
H. 67 コシダ											
H. 68 タカサゴコウゾリナ	+										
H. 69 ノボタン											
H. 70 ナガバハリフタバ											
H. 71 ウスベニニガナ											
H. 72 ヤンバルアカメガシワ											
H. 73 マルパダケハギ											
H. 74 キダチコミカンソウ		+									
H. 75 ハナガサノキ											
H. 76 ササバサンキライ											
H. 77 ナガバカニクサ											
H. 78 イタビカズラ											
H. 79 モチノキ						+					
H. 80 											
H. 81 ソメモノカズラ											
H. 82 カラスキバサンキライ											
H. 83 ヤブニツケイ											
H. 84 ツルグミ											

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-36(4) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1:南側)

調査年月日	南側				南側		南側				南側	
	H26年度				H27年度		H29年度				H30年度	
	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/29	1/30	5/8	7/26
海拔 (m)	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174
方位	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE
傾斜角度 (°)	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	1.8	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
草本層(H)の植被率 (%)	90	95	90	90	90	95	95	95	95	90	90	90
草本層(H)の出現数 (種)	36	35	38	35	36	36	31	32	29	29	31	29
出現種数 (種)	36	35	38	35	36	36	31	32	29	29	31	29
低木層(S)												
S.1 ホルトノキ(モガシ)												
S.2 ホソバムクイヌビワ												
S.3 ギンゴウカン(ギンネム)												
S.4 オオムラサキシキブ												
S.5 ススキ												
S.6 リュウキュウイチゴ												
S.7 リュウキュウチク												
S.8 シロダモ												
S.9 ヤンバルアカメガシワ												
S.10 ヤマグワ												
S.11 ノボタン												
S.12 エゴノキ												
S.13 カキバカンコノキ												
S.14 ショウベンノキ												
S.15 フカノキ												
S.16 シマイズセンリョウ												
S.17 リュウキュウウマノズクサ												
S.18 タブノキ												
S.19 シマウリノキ												
草本層(H)												
H.1 ススキ	4・4	4・4	4・4	4・4	4・4	4・4	4・4	4・4	4・4	4・4	4・4	4・4
H.2 リュウキュウチク (移植株)	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+	+	+	+	+
H.3 コゴメスゲ	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	1・2	1・2	1・2	2・2	2・2	2・2
H.4 ホシダ	+	+	+	+	+	+	+2	+2	+2	1・2	1・2	1・2
H.5 アカメガシワ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.6 ハイシロノセンダングサ	+	+	+	+	+	1・2	+	+	+	+	+	+
H.7 エダウチチヂミザサ	+	+	+	+	+	+	+2	+	+2	+2	+	+2
H.8 ホソバムクイヌビワ	+	+	+	+	+	+		+				
H.9 リュウキュウテイカカズラ	+	+	+	+	+	+	+2	+2	+2	+2	+2	+
H.10 オキナワサルトリイバラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.11 ギンゴウカン(ギンネム)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.12 ケホシダ		+	+	+	+	+						
H.13 シロダモ	+	+	+	+	+	+	+			+	+	+
H.14 リュウキュウチク	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2
H.15 タブノキ	+	+	+	+	+	+	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1

注1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-36(5) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1:南側)

調査年月日	N-4.1 マント群落・ソデ群落形成地											
	南側				南側		南側				南側	
	H26年度				H27年度		H29年度				H30年度	
	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/29	1/30	5/8	7/26
海拔 (m)	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174
方位	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE
傾斜角度 (°)	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	1.8	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
草本層(H)の植被率 (%)	90	95	90	90	90	95	95	95	95	90	90	90
草本層(H)の出現数 (種)	36	35	38	35	36	36	31	32	29	29	31	29
出現種数 (種)	36	35	38	35	36	36	31	32	29	29	31	29
草本層(H)												
H. 16 シマイズセンリョウ												
H. 17 イヌビワ							+	+	+		+	+
H. 18 カキバカンコノキ	+	+	+	+	+	+		+	+	+		+
H. 19 アオノクマタケラン												
H. 20 コンロンカ								+	+			+
H. 21 オオムラサキシキブ	+	+	+				+		+	+	+	+
H. 22 リュウキュウウマノズクサ	+	+	+	+	+	+				+	+	
H. 23 ホウロクイチゴ			+	+	+	+						
H. 24 カクレミノ	+	+	+	+	+	+		+		+	+	+
H. 25 ホルトノキ(モガシ)	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2
H. 26 スダジイ(イタジイ)	+	+	+	+	+	+	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	+・2
H. 27 リュウキュウバライチゴ												
H. 28 ヒメユズリハ	+	+	+	+	+	+	+	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2
H. 29 シラタマカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
H. 30 エゴノキ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 31 ハゼノキ	+	+	+	+	+	+						
H. 32 リュウキュウイチゴ												
H. 33 フカノキ	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	+					
H. 34 トベラ	+	+	+	+	+	+・2	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1
H. 35 サキシマフヨウ	+											
H. 36 ゴンズイ	+	+	+				+	+	+	+	+	+
H. 37 クチナシ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 38 ツボクサ			+	+	+	+						
H. 39 マンリョウ												
H. 40 インドシャリンバイ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 41 シバヤブニツケイ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 42												
H. 43 ヒラミレモン												
H. 44 ギイマ	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1
H. 45 ショウベンノキ	1・1	1・1	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 46 コバナヒメハギ												
H. 47 シロミズ	+	+	+				+			+	+	
H. 48 ヒカゲヘゴ												
H. 49 クロガヤ	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
H. 50 ヘクソカズラ					+	+	+	+				+

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーベツト状に分布, 4: カーベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-36(6) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1：南側)

調査年月日	N-4.1 マント群落・ソデ群落形成地											
	南側				南側		南側				南側	
	H26年度				H27年度		H29年度				H30年度	
	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/29	1/30	5/8	7/26
海拔 (m)	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174
方位	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE
傾斜角度 (°)	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	1.8	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
草本層(H)の植被率 (%)	90	95	90	90	90	95	95	95	95	90	90	90
草本層(H)の出現数 (種)	36	35	38	35	36	36	31	32	29	29	31	29
出現種数 (種)	36	35	38	35	36	36	31	32	29	29	31	29
草本層(H)												
H. 51 ナワシロイチゴ												
H. 52 ヤマゲワ												
H. 53 サネカズラ			+	+	+	+	+	+	+		+	
H. 54 イスノキ												
H. 55 モクタチバナ												
H. 56 タイミンタチバナ												
H. 57 トキワカモメヅル	+											
H. 58 シシアクチ												
H. 59 コパンモチ	+	+	+	+	+	+		+				
H. 60 オオバギ												
H. 61 リュウキュウマツ												+
H. 62 クロミノオキナワスズメウリ												
H. 63 カタバミ												
H. 64 シマサルナシ												
H. 65 ササクサ												
H. 66 オニタビラコ												
H. 67 コシダ												
H. 68 タカサゴコウゾリナ												
H. 69 ノボタン												
H. 70 ナガバハリフタバ												
H. 71 ウスベニガナ												
H. 72 ヤンバルアカメガシワ												
H. 73 マルバダケハギ												
H. 74 キダチコミカンソウ												
H. 75 ハナガサノキ												
H. 76 ササバサンキライ												
H. 77 ナガバカニクサ												
H. 78 イタビカズラ												
H. 79 モチノキ												
H. 80												
H. 81 ソメモノカズラ												
H. 82 カラスキバサンキライ												
H. 83 ヤブニッケイ												
H. 84 ツルグミ												

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5：被度が75～100%，4：被度が50～75%，3：被度が25～50%，2：被度が10～25%，1：被度が10%未満，+：被度が1%以下

群度→5：カーペット状に分布，4：カーペットに穴が開いた状態，3：大きな班を形成あるいはまだら状，2：班状に分布，1：小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-37(1) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1:西側)

調査年月日	西側				西側				西側			
	H23年度				H24年度				H25年度			
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17	
海拔 (m)	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	
傾斜角度 (°)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0	
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	15	20	20	20	30	50	70	75	
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	5	5	8	9	9	8	6	6	
草本層(H)の高さ (m)	0.3	0.7	1.0	1.0	1.3	1.0	1.3	1.5	1.5	1.5	1.5	
草本層(H)の植被率 (%)	20	60	75	80	80	70	60	70	20	30	30	
草本層(H)の出現数 (種)	23	33	32	29	27	26	27	34	25	29	31	
出現種数 (種)	23	33	32	30	30	31	32	36	28	31	31	
低木層(S)												
S.1 ホルトノキ(モガシ)				1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	
S.2 ホソバムクイヌビワ				1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	
S.3 ギンゴウカン(ギンネム)				+	+	+	+	+	1・1	1・1	1・1	
S.4 オオムラサキシキブ						+	+	+	+	+	+	
S.5 ススキ				1・2	1・2	1・2	1・2	2・3	3・3	3・3	3・3	
S.6 リュウキュウイチゴ				+	1・1	1・1	1・1	+	+	+	1・1	
S.7 リュウキュウチク							+	+	+			
S.8 シロダモ												
S.9 ヤンバルアカメガシワ						+	+	+	+			
S.10 ヤマグワ												
S.11 ノボタン						+	+	+				
S.12 エゴノキ												
S.13 カキバカンコノキ												
S.14 ショウベンノキ												
S.15 フカノキ												
S.16 シマイズセンリョウ												
S.17 リュウキュウウマノスズクサ												
S.18 タブノキ												
S.19 シマウリノキ												
草本層(H)												
H.1 ススキ		2・2	2・2	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3			1・2	
H.2 リュウキュウチク (移植株)	++2	++2	++2	++2	++2	++2	++2	++2	++2	++2	++2	
H.3 コゴメスゲ				+	+	+	+	++2	++2	++2	++2	
H.4 ホシダ	+	+	+	1・2	1・2		+	+	+	+	+	
H.5 アカメガシワ	++2	2・2	1・2	++2	++2	++2	+	+				
H.6 ハイシロノセンダングサ			+			+	+	+	+	+	+	
H.7 エダウチチヂミザサ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
H.8 ホソバムクイヌビワ	+	+	1・1					+	+	+	+	
H.9 リュウキュウテイカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
H.10 オキナワサルトリイバラ					+							
H.11 ギンゴウカン(ギンネム)	+	+	+	+		+	+				+	
H.12 ケホシダ	++2	1・1	1・1	2・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	
H.13 シロダモ				+				+				
H.14 リュウキュウチク												
H.15 タブノキ	+	+			+	+				+		

注1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注2) 平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-37(2) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1:西側)

調査年月日	西側				西側				西側			
	H23年度				H24年度				H25年度			
	6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17	
海拔 (m)	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	
傾斜角度 (°)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0	
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	15	20	20	20	30	50	70	75	
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	5	5	8	9	9	8	6	6	
草本層(H)の高さ (m)	0.3	0.7	1.0	1.0	1.3	1.0	1.3	1.5	1.5	1.5	1.5	
草本層(H)の植被率 (%)	20	60	75	80	80	70	60	70	20	30	30	
草本層(H)の出現数 (種)	23	33	32	29	27	26	27	34	25	29	31	
出現種数 (種)	23	33	32	30	30	31	32	36	28	31	31	
草本層(H)												
H. 16 シマイズセンリョウ	+	1・2	2・2	2・2	2・2	1・2	1・2	1・2	+	1・2	1・2	
H. 17 イヌビワ			+	+	+		+	+	+	+	+	
H. 18 カキバカンコノキ		+	+	+	+	+	+			+	+	
H. 19 アオノクマタケラン	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
H. 20 コンロンカ				+		+	+	+	+	+		
H. 21 オオムラサキシキブ		+	+	1・2	+	+	+	+	+	+	+	
H. 22 リュウキュウマノスズクサ	+					+	+	+	+	+	+	
H. 23 ホウロクイチゴ	+	+	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	+	+	+	+	
H. 24 カクレミノ												
H. 25 ホルトノキ(モガシ)	+	1・1	1・1	+	+			+	+	+	+	
H. 26 スダジイ(イタジイ)												
H. 27 リュウキュウバライチゴ		+	+		+	+	+	+	+	+	+	
H. 28 ヒメユズリハ		+		+				+				
H. 29 シラタマカズラ												
H. 30 エゴノキ		+	+	+		+	+	+				
H. 31 ハゼノキ		+	+	+	+	+		+	+	+	+	
H. 32 リュウキュウイチゴ				2・2				2・3	1・2	1・2	1・2	
H. 33 フカノキ			+	+	+	+	+	+	+	+	+	
H. 34 トベラ												
H. 35 サキシマフヨウ		+	+	+			+	+		+	+	
H. 36 ゴンズイ	+	+	+	+	+	+			+	+	+	
H. 37 クチナシ												
H. 38 ツボクサ												
H. 39 マンリョウ							+		+	+	+	
H. 40 インドシャリンバイ		+			+		+	+				
H. 41 シバヤブニッケイ												
H. 42												
H. 43 ヒラミレモン	+	+	+	+	+	+			+		+	
H. 44 ギイマ												
H. 45 ショウベンノキ												
H. 46 コバナヒメハギ	+	+	+									
H. 47 シロミミズ												
H. 48 ヒカゲヘゴ						+	+	+	+	+	+	
H. 49 クロガヤ												
H. 50 ヘクソカズラ												

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カーベツト状に分布, 4: カーベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.1.3-37(4) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1:西側)

調査年月日	N-4.1 マント群落・ソデ群落形成地												出現回数
	西側				西側		西側				西側		
	H26年度				H27年度		H29年度				H30年度		
	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	6/2	9/1	11/29	1/30	5/8	7/26	
海拔 (m)	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	
傾斜角度 (°)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	
調査区面積 (m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
低木層(S)の高さ (m)	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
低木層(S)の植被率 (%)	75	30	30	30	30	30	40	60	70	60	60	60	
低木層(S)の出現数 (種)	9	5	4	4	4	4	6	6	7	7	10	11	
草本層(H)の高さ (m)	1.5	1.5	1.5	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.0	1.0	
草本層(H)の植被率 (%)	30	70	70	70	70	70	75	80	70	70	50	60	
草本層(H)の出現数 (種)	29	19	21	19	23	24	21	19	25	19	24	22	
出現種数 (種)	31	21	23	21	25	26	24	23	27	21	26	26	
低木層(S)													
S.1 ホルトノキ(モガシ)	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	2・1	2・1	2・1	2・2	2・2	20
S.2 ホソバムクイヌビワ	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	20
S.3 ギンゴウカン(ギンネム)	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	20
S.4 オオムラサキシキブ	+	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	+	1・1	1・1	+	+	+	18
S.5 ススキ	3・3	+							1・2	1・2	3・3	3・3	14
S.6 リュウキュウイチゴ	1・2												9
S.7 リュウキュウチク							1・1	+	+	+	+	1・2	9
S.8 シロダモ													6
S.9 ヤンバルアカメガシワ													4
S.10 ヤマグワ							+	+	+		+		4
S.11 ノボタン													3
S.12 エゴノキ	+										+	+	3
S.13 カキバカンコノキ										1・1	1・1	1・1	3
S.14 ショウベンノキ													2
S.15 フカノキ	+												2
S.16 シマイズセンリョウ											+	+	2
S.17 リュウキュウマノスズクサ	+												1
S.18 タブノキ												+	1
S.19 シマウリノキ												+	1
草本層(H)													
H.1 ススキ	+	4・4	4・4	4・4	4・4	4・4	4・4	4・4	3・4	3・4	1・2	1・2	87
H.2 リュウキュウチク (移植株)	+	+	+	+	+	+	+	+					86
H.3 コゴメスゲ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	85
H.4 ホシダ	+	+	+	+	+	+	+	1・2	1・2	1・2	1・2	2・2	82
H.5 アカメガシワ	+		+	+									74
H.6 ハイシロノセンダングサ		+	+	+	+	+		+	+	+	+	+	72
H.7 エダウチチヂミザサ	+	+		+	+	+	+	+	+	+	+	+	70
H.8 ホソバムクイヌビワ	+			+	+	+	+	+	+	+	+	+	69
H.9 リュウキュウテイカズラ	+		+	+	+	+			+	+	+	+	63
H.10 オキナワサルトリイバラ	+				+	+							61
H.11 ギンゴウカン(ギンネム)	+	+	+										58
H.12 ケホシダ	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・1	1・1	1・1	2・2	2・2	2・2	58
H.13 シロダモ						+		+	+		+	+	56
H.14 リュウキュウチク							+		+	+	+	+	56
H.15 タブノキ		+									+		52

注 1) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下

群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注 2) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。